

# おおい 自然園

## コウヤボウキ



冬の雑木林を散策すると、ちょっとした綿毛を付けた長い枝を目にします。

コウヤボウキ（高野箒）です。

その昔、竹を植えてはならなかった高野山では、この茎を束ねてほうきを作っていたことから、この名が付いたと伝わります。

本種は、秋に白い花を咲かせるキク科の植物です。よく見ると、小さな花が集まって1つの花に見えるのです。60〜90センチメートルと丈が低いので、一見、草本のように見えますが、りっぱな木本です。綿毛は淡褐色のものだけでなく、少し赤みかかったものもあります。集めてドライフラワーなどに利用するのもよいでしょう。



△綿毛になったコウヤボウキ



△コウヤボウキの花は秋咲く